

2024年7月1日

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社

インバウンド増加による本県経済への効果について ～ ニューヨーク・タイムズの影響などから経済波及効果は18.2億円 ～

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社（代表取締役 佐々木泰司）は、米国の有力紙ニューヨーク・タイムズにおいて「2023年に行くべき52カ所」に盛岡市が選出されたことを背景として本県に外国人入込み客数が増加したことによる経済波及効果の試算結果を以下のとおり公表します。

【経済波及効果】

(人泊、百万円)

| | 本県への外国人入込み 客数（延べ人数） | 経済波及効果 |
|---------|------------------------|--------|
| ①2018年度 | 280,650 | 8,023 |
| ②2023年度 | 344,370 | 9,845 |
| 増減（②－①） | 63,720 | 1,822 |

- (注) 1. 新型コロナウイルス感染拡大前の状況と比較するため2023年度と18年度との比較
(2019年度はラグビーW杯の特殊要因あり)
2. 経済波及効果の算出に用いる観光消費額は、新型コロナウイルスの影響排除と複数年の動向の反映および外国人入込み客数の増加を端的に捉える観点から①と②のいずれも2018年・19年・23年の平均金額を採用

算出された経済波及効果である1,822百万円は、盛岡市における百貨店や総合スーパー、コンビニエンスストアなど各種商品小売業の年間販売額(22,946百万円 ※総務省「経済センサス-活動調査」2021年)の7.9%に相当するインパクトがあるものです。

《問い合わせ先》
いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社
経営支援部 地域経済調査担当 沢田 茂
TEL : 019-622-1212